

早稲田大学審査学位論文

博士（人間科学）

韓国における伝統武芸の創造

The Invention of Traditional Martial Arts in Korea

2011年1月

早稲田大学大学院 人間科学研究科

朴 周鳳

Park, JooBong

研究指導教員： 寒川 恒夫 教授

目次

序章	1
研究目的と方法	
先行研究の検討	
第1章 韓国武芸の歴史	10
第1節 韓国における軍事武芸	11
1. 三国時代の武芸	
2. 高麗時代の武芸	
3. 朝鮮時代の武芸	
4. 近代期の武芸	
第2節 3つの武芸の史的検証	17
1. 手搏	
2. テッキョン	
3. 海東剣道とサムラン	
第3節 韓国の武芸団体现況	27
まとめ	29
第2章 国技テコンドーの創造	30
第1節 テコンドー神話の誕生	33
1. 戦後における空手の流入	
(1) 空手道場の動き	
2. 現代武芸テコンドーの始まり	
(1) 崔泓熙とテコンドーの創造	
(2) 初期テコンドー型の制定	
(3) テコンドー型の変遷と確立	
第2節 テコンドーの体系化と国際化	58
1. テコンドーの競技化	
2. テコンドー組織の統合と国際化	
まとめ	61
第3章 無形文化財としてのテッキョン	62
第1節 韓国の無形文化財制度	63
1. 韓国の文化財保護法の変遷	

2. 現在の「文化財保護法」の内容	
(1) 文化財保護法の目的と原則	
(2) 文化財の分類と対象	
(3) 重要無形文化財の指定と支援	
第2節 「無形文化財調査報告書 テッキョン」	73
1. テッキョンの1973年「無形文化財調査報告書」	
(1) 申請書	
(2) 申請理由と結果	
(3) 宋德基とテッキョンに対する調査	
2. テッキョンの1982年「無形文化財調査報告書」	
(1) 1人練習	
(2) 相対練習	
(3) 乱取	
第3節 重要無形文化財としてのテッキョンの展開	88
1. 無形文化財指定以後のテッキョンの状況	
(1) テッキョンの原型に対する論争の始まり	
(2) テッキョンの伝授団体	
(3) テッキョンの大韓体育会への加盟過程と団体の葛藤	
2. テッキョンから見られる韓国武芸社会の問題	
(1) 文化財と体育としての認識の差	
(2) 公的権威の獲得と政府支援	
まとめ	107
第4章 海東剣道の創造と展開	109
第1節 海東剣道の創造過程	110
1. 海東剣道の説話づくり	
(1) 「世界海東剣道連盟」による海東剣道起源説話	
(2) 「韓国海東剣道協会」による海東剣道起源説話	
2. 海東剣道の起源に関する裁判	
(1) 法廷での証言	
(2) 判決文	
3. 海東剣道の誕生説話の分析	
第2節 海東剣道の普及と展開	124
1. 海東剣道の普及過程	
(1) 他流道場の海東剣道への転向	
(2) 海東剣道の段証は短時間で取得できる	

(3) 支館の開設が容易である	
2. 海東剣道の海外進出	
3. マグドナルド化：海東剣道の経営戦略	
まとめ	149
第5章 韓国政府による伝統武芸振興法の制定	150
第1節 国会における「伝統武芸振興法」の採択過程	151
1. 「伝統武術振興法」から「伝統武芸振興法」へ	
2. 伝統武芸振興法の制定へ	
3. 伝統武芸振興法施行令の制定	
第2節 伝統武芸の概念化	161
第3節 伝統武芸振興法の施行後の韓国武芸界の動き	163
まとめ	164
結章	165
参考・引用文献	167